

類別: 機械器具 12 理学診療用器具  
一般医療機器 一般的名称: 止血用押圧器具 (JMDNコード: 70617000)

## KDL プレッシャーバンテージ

再使用禁止

### 【禁忌・禁止】

#### ＜使用方法＞

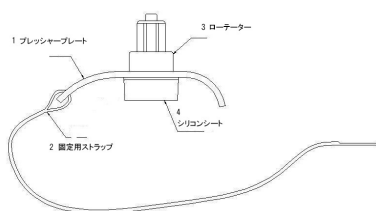
1. 再使用禁止
2. 再滅菌禁止

### 【保管方法及び有効期間等】

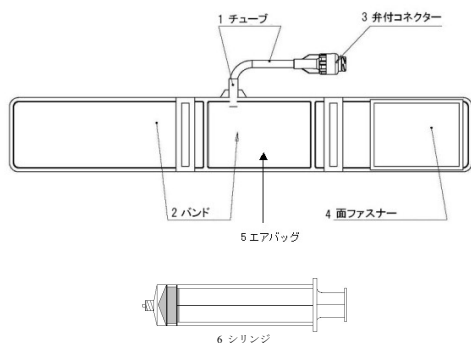
1. 保管方法  
直射日光、水濡れを避け、湿気の少ない清浄な環境で保管すること。
2. 有効期間  
有効期間は、自己認証(製造元データ)による。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 押圧式



#### 2. 空気注入式



### 【使用目的又は効果】

血管造影、その他の診断処置終了時に、大腿部又は前腕(橈骨動脈)部のカテーテル挿入部位を圧迫止血するために用いる器具をいう。

### 【使用方法等】

#### 1. 押圧式

1. 包装を開け、製品を取り出す。
2. ガーゼを止血部位にのせる。
3. ローテーターを半時計回しに動かし、シリコンパッドが完全に上部に上がっていることを確認する。
4. シリコンパッドが穿刺部位にのせたガーゼの真上に位置するようにバンドを装着する。
5. 患者の状態を確認しながら、ローテーターを時計回しに動かし止血する。この時ローテーターを強く締めすぎないように注意する。脈拍が感じられる程度にする。
6. 止血が確認できたら本品を取り外す。

#### 2. 空気注入式

1. 包装を開け、製品を取り出す。
2. ガーゼを止血部位にのせる。
3. 出血があるかどうか穿刺部位を観察し、シリンジを準備する。
4. エアバッグ部分をガーゼにあて、バンドを装着する。患者の状態により、13-18mL 空気を注入し、そのまま4時間程度保持する。その後、2時間毎に、毎回半分減圧する。(減圧が完全に終了するまでには8時間かかる。)
5. 止血が確認できたら本品を取り外す。